

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	大河津分水「水と土の芸術祭」写真展	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	展示会、〇〇ショー	

1. 事業目的

本事業は、「水と土の芸術祭2018」と連携し、その出典写真等を通じて大河津分水路の新たな魅力を発信することにより、河川行政に関心のない方々にも大河津分水路や信濃川について理解していただく機会を提供するとともに、日頃の河川利用の促進を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：国土交通省信濃川河川事務所
共催：水と土の芸術祭2018実行委員会
協賛：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

日時：展示会 平成30年10月14日(日)～12月16日(日)
作品解説会 平成30年11月3日(土)

場所：信濃川大河津資料館

対象：資料館来館者(作品解説会参加者は応募のあった23名)

事業内容：

▶ 作品展示

写真家山本糾(やまもと ただす)氏による、大河津分水路の可動堰や第二床固を被写体とした「水と土の芸術祭2018」への出展作品の展示を行う。また併せて、大河津分水路建設時の貴重な資料の展示を行う。

▶ 作品解説会

写真家の山本氏を招き、写真撮影での苦労話や写真家から見た大河津分水路の魅力について伺う。

▶ 山本氏の略歴

1950年香川県生まれ。武蔵野美術大学卒。現在は東京を拠点に活動。「水」をテーマにした作品が多く、モノクロで深みのある写真が特徴。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

大河津分水路は1922年の通水以来、越後平野の洪水氾濫防御、水利用に大きな役割を果たしており、私たちの暮らしと密接な関わりがある。本事業では、写真展示や作品解説を通し、大河津分水路の恩恵や魅力について考えてもらうことができた。特に、旧可動堰や旧洗堰など、日頃あまり関心を寄せてこなかった施設について、その魅力を再発見されたようだ。

作品解説会の参加者に対するアンケートでは、「満足した」との回答を多く得ることができた。主な意見は以下のとおり。

- ・写真家の視点からの大河津分水路がすばらしかった。
- ・作品とリアルを見比べるような機会は初めてで面白かった。
- ・作家さんによる作品解説は貴重な体験でした。
- ・プロのカメラマンによる大河津分水路での写真講座も開催してほしい。
- ・今回の写真展の作品も大河津の歴史を語るものになればよい。



山本糾氏による展示作品解説の様子



写真家から見た大河津分水路の魅力の説明の様子